



あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。(ペトロの手紙14章10節)

As each one has received a gift, minister it to one another, as good stewards of the manifold grace of God. (1Peter 4:10)

“Strive to discipline yourself and be a helpful, caring person.”

## Kyugaku Journal



### 創立者の精神を覚える会

## 私の使命〜未来へのバトン〜

国際青年会議所アジア太平洋エリアマネージャー 古賀泰代さん(S46回)

九州学院では初代院長遠山参良先生の命日(10月9日)を前に毎年「創立者の精神を覚える会」を行い、建学太平洋エリアマネージャー

の精神をあらためて想い起こす場を持ちます。今年は10月7日(土)、国期生を講師に迎えて『私の使命〜未来へのバトン』の演題でご講演をたまりました。



古賀さんは九州学院での出会いや体験を紹介して、それらが後の仕事や活動につながったと語られました。また、ご自身の半生を紹介しつつ感じてきたこと、伝えたいことを熱弁された古賀さんに、生徒たちは「今の大人(社会や世界を支える責任を担う世代)から渡される「未来へのバトン」を受け取るべく、真剣なまなざしで傾聴していました。講演会終了後、高1と中1の生徒たちは百年記念体育館前に移動し、遠山参良先生記念碑(以前は万日山にあったもの)前で、クラスごとに創立者の精神をおぼえて拝礼を行いました。

### 宗教改革500周年

あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。

—ヨハネによる福音書8章32節—

九州学院チャプレン・副院長 小副川 幸孝



2017年は、西欧で宗教改革が起こって丁度500年目に当たり、各地で宗教改革を記念する行事が行われています。500年前の1517年10月31日の朝、ヴィッテンベルグ大学で聖書を教えていたM.ルターは、それまで支配的だった世間の常識やしきたり、古くて悪い習慣ということではなく、聖書が示す真理に従って生きていこうという、この単純で、しかしすばらしい決意に身を固めて、「城教会」とよばれる大学のチャペルの門に95カ条からなる提題を掲げたのです。こうして、歴史の流れを変える宗教改革の運動が、一大展開を遂げることになりました。

M.ルターの教えによって引き起こされた宗教改革は、16世紀の西欧社会の構造を大きく変え、ルネッサンスと並んで近代の幕開けともなりました。その運動の根本は、満ちあふれる神の恵みを、もう一度生き生きと発見していこうというものでした。

九州学院は、そのM.ルターの教えを受けたルター派の教会によって設立されましたから、九州学院でも宗教改革を記念する行事が、10月29日に熊本市内の教会の合同礼拝としてブラウン・メモリアル・チャペルで行われました。

私たちは苦勞の多い現実を生きていますが、だからこそ、この現実の中で「神の恵み」を生き生きと見出していくこと、そのことを覚えておきたいと願っています。

### 祝日本一!

- 高校剣道部 第90回玉竜旗高校剣道大会(4連覇)
- 高校剣道部 全国高校総体剣道競技個人戦 岩切勇磨選手
- 中学剣道部 第47回全国中学校剣道大会団体戦(2年ぶり6回目)
- 中学剣道部 第47回全国中学校剣道大会個人戦 荒木京介選手
- 自転車競技部 全国都道府県対抗少年男子ケイリン 松本秀之介選手

今夏も全国的優勝の栄冠に輝いた九州選手が続出し、マリセ福岡で行われた第90回玉竜旗高校剣道大会では、決勝を含め大将の岩切選手に一度も回すことなく4連覇の偉業を達成しました。

また、カメイアリーナ仙台で行われた全国高校総体剣道競技個人戦で、岩切勇磨選手(3年)が見事優勝、また長尾和樹選手(3年)が3位となりました。岩切選手は4回戦で大会史上初の引分再試合の激闘を勝ち抜いての優勝となりました。中学剣道部は高校剣道部が果たせなかった団体戦・個人戦ダブル制覇を達成しました。佐賀県総合体育館で行われた第47回全国中学校剣道大会団体戦決勝では、東京都の関中学校に4対0で完勝すると、個人戦も荒木京介選手(3年)が同校対決の決勝戦で平尾尚武選手(3年)に勝利して見事優勝しました。新チームへ移行した中高剣道部ですが、伝統の継承と新たな歴史創造に向けてさらに期待が高まっています。

春の全国選抜大会で学校対抗総合優勝を果たした自転車競技部も活躍しました。福井市営競輪場で行われた第52回全国都道府県対抗自転車競技大会では、松本秀之介選手(2年)が、100分の1秒を争う少年男子ケイリンで優勝しました。トラック競技で特に短距離の速度を競う種目に自信と実績を持つ松本選手は、来春の選抜大会や全国高校総体での優勝を十分に狙える実力者です。熊本地震の影響が未だに練習や試合環境にあるなかでの今回の優勝は、復興への元氣と勇気を与えてくれるものとなりました。



松本選手



岩切選手



団体・個人W優勝の中学剣道部

### クリスマスを迎える

九州学院 院長 阿部 英樹



九州学院につながる私たちに特別な思いを分かち合うクリスマスの季節がもうすぐやってきます。

私が九学在学中だったクリスマスには、礼拝後白川先生指揮のもと吹奏楽部による「メサイア」ハレルヤが演奏され、深い感動を覚えたものでした。この曲を聴く度に、九学での青春時代がよみがえってきて心が温まります。今年も同じ体育館で、全校生徒が共にクリスマス礼拝を守ります。

宗教改革者ルターは、クリスマスイブ礼拝の帰り道の森の中で、常緑樹の枝の合間から無数のまばゆく輝く星を見て、その美しさに心打たれました。そして、それを子どもたちのために再現しようと、家の中に木を持ち込み、火を灯したろうそくを枝にくくりつけたそうです。その後、ドイツではクリスマスツリーが一般的になり、時代を経て趣向を凝らしたオーナメントが飾り付けられるようになったということです。九学の校門前の大きなツリーに、明かりが灯されると、このエピソードが思い出されます。

さて、みどり幼稚園の園児たちによるイエス・キリストの生誕劇は、今では恒例となっており、毎年その愛らしさが高校生たちの心をとらえています。園児たちの純粋でひたむきな姿が、中高校生の心にキリストの生誕の出来事をまっすぐに届けてくれるからだと思います。

中学校では、新たな取り組み、クリスマス合唱発表会の準備を進めています。英語でクリスマス賛美歌も歌う予定です。また、燭火礼拝は、12月22日(金)、3号館ホールにて一般公開されます。どなたも温かく歓迎されます。

この時期は入試シーズンの到来とも重なり、中学校の専願生・奨学生入試の願書受付が11月28日から始まります。中学校は、煉瓦造りの新校舎が新入生を迎えます。新高校1年生は、新しい制度の大学入試に臨む1期生となります。このために、すでに今春から特進コースの改革が進められており、1クラスであった特進コースは一気に3クラスになっています。

クリスマスはまもなく迎えます。救い主イエス・キリストの灯が、私たちの心を温かく照らすものとなり、思いやりの気持ちと希望を互いに分かち合うことができますように、また、私たち一人一人にとって特別な意味を持つ素敵なクリスマスとなりますようにお祈りします。

# つながる広がる 九州学院の国際交流

## 【豪州姉妹校から訪日研修団が来校】

10月5日(木)、オーストラリアのアデレード市から姉妹校(九州学院・九州ルーテル学院と1990年に締結)関係にあるインマヌエル・カレッジの生徒20人、ルーテル学院高校への交換留学生1人、引率3人の計24人が九州学院に来校されました。

訪問団は国際交流委員教諭による説明を受けた後、全員または複数の班に分かれて九州学院中高の授業に特別ゲストとして参加しました。音楽や英語の授業に加え、書道や剣道といった日本文化や武道に触れる機会ももちました。生徒たちは初対面でしたが、すぐに打ち解けて和やかな雰囲気の中交流を深めていました。



## 【復活ルーテル教会の訪日団が来校】

7月12日(水)、アメリカ合衆国カリフォルニア州の「復活ルーテル教会」から、ユース(15~18歳)8人とリーダー3人が九州学院を訪ねられ、3日間ホームステイや授業参加などを通して生徒と国際交流のときをもちました。

交流初日となったこの日は中学生のホール朝礼で挨拶と自己紹介を行い、交流の記念として派遣元の教会旗を阿部英樹院長に手渡しました。その後は高校や中学校の教室等で英語や芸術、剣道などの授業に参加したり、九学会館(同窓会事務室など)で九州学院の歴史や熊本への伝統について学んだりしました。



今夏、宮城県で行われた「第41回全国高等学校総合文化祭」で、将棋部門に古荘香弥さん(2年)が前回に引き続き熊本県代表として出場しました。古荘さんはこれで3季連続全国大会出場の快挙となりました。また、書道部門では松岡結さん(3年)の書が出品され、会場でも注目を集めていました。



松岡さん

古荘さん

全国総文祭出場出品  
将棋 古荘香弥さん  
書道 松岡結さん

## 文化部門でも活躍

開会式では選手宣誓を吉永涼太高校生徒会長と岩田花佳中学校生徒会会長が声高らかにを行いました。競技は第一種目の百メートル走から大歓声が沸き起こり、放送部

来場される方々の観覧場所を設けられず、やむなく非公開での開催とさせていただきます。種目数も例年よりも少なくして午前中のみ日程で実施しました。

## 「校内体育祭」大盛況!



9月8日(金)、九州学院全天候型グラウンドで九州学院校内体育祭を開催しました。今回は4号館(中学校舎)改築工事の影響により

9月16日(土)、高校は濱田龍郎さんを招いて講演会を行いました。濱田さんは被災地支援活動などを展開され、現在までにラーメンを10万杯無償提供されています。講演で濱田さんは、ボランティアに

「人にはできることがある」  
ボランティア仲間九州ラーメン党理事長 濱田龍郎さんを招いて講演会



の状況が会場の雰囲気作りにも貢献しました。特に高校生が学年男女別で行う種目(綱引き、高1男、騎馬戦、高2男、棒引き、高3女、棒倒し、高3男)では、パフォーマンスで場内を盛り上げながらも

いざ試合が始まると全員が真剣勝負を行い、その勇壮な力勝負に大声援を送られました。また中学校の玉入れや高校1・2年女子のダンス、各学年クラス対抗リレー(教職員チームも参戦)など全種目でグラウンドには歓声がこだまし、校内体育祭であることを忘れさせるほど生徒たちは充実した時間を過ごすことができました。

閉会式では吉永会長が生徒会役員を代表して挨拶を行い、この日に至るまでの熱い思いを語り、一同は感動と感謝を込めた大きな拍手を送りました。今回は新校舎の前に皆さまをお迎えして、伝統と新生の九州学院体育祭をご覧いただければと願っています。



7月15日(土)、熊本県立劇場で「平成29年度全日本合唱コンクール熊本県予選」が行われ、熊本市予選が行われ合唱部(中高合同)が高校部門で見事金賞を受賞しました。また、9月8日(金)に沖繩コンベンションセンター劇場で行われた九州大会高校の部では銀賞を受賞しました。

9月23日(土)、熊本学園大学で「第30回熊本県高等学校英語スピーチコンテスト」が行われ、黄允珠さん(1年)が上級生も多数参加する激戦のなか2位に入り、九州大会への出場権を獲得しました。昨年の高田宮杯全日本中学校英語弁論大会を制した実力を高校でも発揮する活躍でした。九州大会は11月4日(土)に沖繩県で全国大会進出をかけ行われます。

全日本合唱コンクール  
熊本県予選「金賞」  
九州大会「銀賞」

## 第30回熊本県高校英語スピーチコンテスト

黄さん九州大会へ!

九州学院高校文芸部が部員の作品をまとめ定期的に発行している「九学春秋第15号」が「第34回熊本県高等学校文芸誌コンクール」で最優秀賞に輝きました。また村井音音さん(卒業)の在校時の作品が若楠賞を受賞しました。

文芸部「九学春秋」が「最優秀賞」を受賞  
村井音音さん「若楠賞」

第23回熊本県高等学校揮毫大会(9月2日)「ワイングまつばせ」松岡 結(3年) 秀作(平切の部) 山口 幹人(3年) 秀作(全紙の部) 破卓女子大学 全国書道展(9月23日) 団体優秀賞(書道展賞) 福島 咲輝(1年)

第42回IEC国際大学校総合英語暗誦大会(7月15日)「ワッシャーモーター」中島みなみ(1年)

第61回熊本県吹奏楽コンクール(7月25日)「熊本県立劇場」銀賞

文芸部「九学春秋」が「最優秀賞」を受賞  
村井音音さん「若楠賞」

## 文芸部「九学春秋」が「最優秀賞」を受賞

九州学院高校文芸部が部員の作品をまとめ定期的に発行している「九学春秋第15号」が「第34回熊本県高等学校文芸誌コンクール」で最優秀賞に輝きました。また村井音音さん(卒業)の在校時の作品が若楠賞を受賞しました。

九州学院高校文芸部が部員の作品をまとめ定期的に発行している「九学春秋第15号」が「第34回熊本県高等学校文芸誌コンクール」で最優秀賞に輝きました。また村井音音さん(卒業)の在校時の作品が若楠賞を受賞しました。

九州学院高校文芸部が部員の作品をまとめ定期的に発行している「九学春秋第15号」が「第34回熊本県高等学校文芸誌コンクール」で最優秀賞に輝きました。また村井音音さん(卒業)の在校時の作品が若楠賞を受賞しました。

## ミケーラさん九学での留学生活に感謝

6月22日(木)、インマヌエル・カレッジから留学生として九州学院での生活を過ごしてきたミケーラ・アンダーソンさんが、3号館ホールで全校生徒・教職員に向けて感謝と惜別の挨拶を行いました。

通訳を介さず一人で英語とたいへん流暢な日本語でスピーチを行ったミケーラさん。これまでの思い出を振り返りつつ、日本文化の体験や九州学院での日々が自分の成長につながったこと、友人やホストファミリーそして教職員への感謝の言葉を語りました。ミケーラさんはオーストラリアに帰国後、現在はアデレードの大学で学びを深めています。

九州学院でもともに過ごすことができましたことに感謝するとともに、ミケーラさんのこれからのますますの活躍をお祈りいたします。



8月19日(土)、熊本県立劇場コンサートホールにおいて「2018年度九州学院高等学校入試説明会」を開催しました。昨年末までは校内で実施していましたが、今回初めて校外施設を使用して行いました。

## 2017年度高校新生徒会役員

- 会長 有吉 健紀(2年)
- 副会長 船山 竜尚(2年)
- 書記 上村 陽向(2年)
- 書記 稲津 瑠都(1年)
- 会計 高松 実妃(2年)
- 会 計 濱田康大朗(1年)

## 世界が舞台!! 国際大会で活躍する九学生

※藤本一喜くんベア WORLD DANCE COLOSSEUM 準優勝!  
9月3日(日)、東京都のZepp DiverCity TOKYOで行われた、WORLD DANCE COLOSSEUM 2017 FINAL Day 2の"4STYLE BEST4 トーナメント(2on2 BATTLE)"にHIPHOP部門で出場した藤本一喜くん(2年)のベア(LEO & IKKI)が準優勝しました。

これまでも数々の大会で実績を残している貫禄と実力を発揮した演技を行いました。熊本をはじめ各地で指導者としても大活躍中の藤本くんの今後ますますの活躍が期待されています。



## ※佐藤健くん 自転車競技ジュニア日本代表で3位に入る活躍!

7月に開催された自転車競技の国際大会「2017 UCI ジュニアネイションズカップ」カナダ大会(Tour de l'Abitibi)にジュニア日本代表として参戦した佐藤健選手がステージ4で3位に入り、銅メダルを獲得しました。

佐藤選手はインドやイタリア、韓国などを転戦し、ジュニア日本代表チームを牽引しました。今後は上の世代に活躍の場を移し、より高いレベルの大会に挑戦します。五輪日本代表をめざして頑張る佐藤選手にご声援をお願いします。



## 高校入試説明会

初めて県立劇場で開催 1千5百人超の来場者



8月19日(土)、熊本県立劇場コンサートホールにおいて「2018年度九州学院高等学校入試説明会」を開催しました。昨年末までは校内で実施していましたが、今回初めて校外施設を使用して行いました。

開場時刻前から県立劇場には多くの中学生や保護者が詰めかけ、最終的に1千5百人を超え、ホールはほぼ満席となりました。終了前に実施したアンケートでは、在校生が本当に九学に来てよかったという思いや学校の魅力がよく伝わりましたという感想を多数いただきました。

一人でも多くの受験生に本校の特色が伝わり、受験の際に本校を選択していただきやすいよう願っています。





九州学院みどり幼稚園  
種まきといのちの育み

認定こども園九州学院  
みどり幼稚園園長 長岡立一郎  
九州学院理事長

「涙と共に種を蒔く人は、喜びの歌と共に刈り入れる。」(詩編126篇5節)

教育の業はいつも種を蒔く作業に似ています。殊に人生の土台作りである幼児教育の時期は種蒔きそのものです。土を耕し、柔らかい土壌に、絶やさず種を蒔く作業は根気がいりますし、愛情なくしてとてでもできることではない。



この秋には、防災・避難訓練やカーニバル(運動会)は、10月をい

九州学院創立110周年 震災復興特別募金

皆さまの御協力をお願いいたします!

九州学院は2021年に創立110周年の節目を迎えます。前進と発展を続ける一方、昨年の熊本地震で学院は甚大な被害を受け、2号館(教室と特別教室棟)と4号館(中学校舎)は建て替えを余儀なくされ、他にも複数の建物で補修が必要となりました。

この度学院施設を復旧復興するにあたり「オール九州」による「Build back better」(より良い復興)を実践していくため、「九州学院創立110周年 震災復興特別募金」を創設し、皆さまに御協力をお願いすることになりました。

この特別募金の趣意書ならびに詳細につきまして改めてご案内させていただきます。皆さまの御理解と御協力をたまりませんようお願い申し上げます。

なお、この特別募金はすべて震災復興に充てさせていただきます。また、2017年9月までの既存募金額(「熊本地震義援金」33,794,909円)のご報告も併せて別紙に記載させていただきます。

- 目標額: 1億2千万円(※上記既存募金額を含みます)
- 期間: 2018年1月~2022年3月(予定)

九中コーナー



6月7日(水)~9日(金)の2泊3日で大分県九重町にある泉水キャンパスで全校教育キャンプを行いました。

全校教育キャンプ2年ぶりに九重町で実施



初日は雨天のために体育館でのクラスマッチと研修室での学級活動を実施しました。晴天となった2日目は朝から前日に予定していたカレーを作りま



の班が優勝しました。身体を動かした後の夕食(バーベキュー)の味は格別でした。

3日目は朝食後に感謝の気持ちを込めて美化活動を行い、キャンプ場を後にしました。今回のキャンプを通して、クラスメイトとの共同生活やかまどを使った調理など、普段の生活では得られない貴重な体験をすることができたのではないのでしょうか。日常生活に感謝する気持ちは、今後の学校生活に生きてくることでしょう。

- 弓道部 熊本市中学校総合体育大会(熊本市南部総合スポーツセンター弓道場)6月24日
- 男子団体 2位
- 女子個人(2年以下) 1位 田崎 大輝(2年)
- 男子個人(2年以上) 1位 上野 想空(2年)
- 女子個人(学校代表) 2位
- 女子個人(2年) 1位 石田 夢季(3年)
- 女子個人(2年以下) 2位 宇佐美 美(2年)
- 女子個人(2年) 4位 宇佐美 美(2年)
- 女子個人(2年) 5位 船津 暖日(2年)

- 剣道部 全国道場連盟県予選(ウイング松橋)6月3日
- 九学道場 1位
- 九学道場 3位
- ほたるの里剣道大会(旭志体育館)6月10日
- 団体 1位
- 熊本市中学校総合体育大会(相良村体育館)6月11日
- 団体 1位
- 熊本市中学校総合体育大会(熊本市西高)6月24日・25日
- 団体 1位

- ハンドボール部 熊本市中学1年生大会(長嶺中体育館)8月26日
- 団体 1位
- 熊本市学年別個人選手権(高綱中学校)9月9日
- 2年生の部 1位 荒木 京介(3年)
- 1年生の部 1位 平尾 尚武(3年)
- 2年生の部 1位 荒木 京介(3年)
- 1年生の部 1位 荒木 京介(3年)
- 2年生の部 1位 荒木 京介(3年)

- 水泳部 第44回熊本県中学生学年別水泳競技大会(8月19日~20日) 全名市民プール
- 男子200m 1位 澤村 祐輔(2年)
- 男子100m 1位 澤村 祐輔(2年)
- 女子100m 1位 澤村 祐輔(2年)
- 女子50m 1位 佐野 芹華(1年)
- 女子100m 1位 佐野 芹華(1年)
- 女子200m 1位 佐野 芹華(1年)
- 女子400m 1位 佐野 芹華(1年)
- 女子800m 1位 佐野 芹華(1年)
- 女子1000m 1位 佐野 芹華(1年)
- 女子1500m 1位 佐野 芹華(1年)
- 女子2000m 1位 佐野 芹華(1年)

- 柔道部 熊本市中学校総合体育大会(宮中体育館)6月22日・23日
- 女子個人70kg級 1位 坂田 早水(3年)
- 女子個人57kg級 2位 吉村 美祐(1年)
- 女子個人52kg級 3位 詫田 美沙希(3年)

- チアダンス部 ダンスドリル2017九州大会(6月3日) 福岡かすやドーム
- 中学生ソングライター部門 1位
- ダンスドリル2017中学校全国大会(8月11日) 東京体育館
- 中学生ソングライター部門 4位

- 陸上競技部 第44回全日本中学校陸上競技選手権大会予選会(6月10日)
- 女子個人57kg級 1位 田代 麻有(2年)
- 女子個人52kg級 2位 吉村 美祐(1年)
- 女子個人50kg級 3位 詫田 美沙希(3年)

- 砲丸投げ 宮本 朋美(3年)

校内弁論大会を実施 優秀賞3人に表彰状

10月2日(月)、3号館ホールにおいて中学校校内弁論大会を開催しました。各クラス代表計9人が発表しました。発表者は経験をふまえた身近な内容を、伝わりやすい声の大きさやスピード、身振り手振りを交えるなど、

生徒会がスタート

9月27日(水)、投票の結果を受けて生徒会役員の見学式を行いました。阿部院長から認証状が手渡されました。認証式後には旧生徒会長 岩田花佳さんから

- 会長 岩永 真拓(2年)
- 副会長 鳥丸 陽一(2年)
- 書記・会計 遠山 楓呼(2年)
- 大塚 優水(2年)
- 永田まどか(1年)
- 福原 杏(1年)

